

鎌倉散策 平成 25 年 6 月 4 日 名古屋市民大学講座校友会研修の旅に、

加えていただきました。

鎌倉には何時行ったであろう。確か中学校の修学旅行と学生時代との 2 度行ったような記憶があるが定かでない。念願叶って「鎌倉大仏様」にお目にかかることが出来たが、さすが首都圏に近いだけあって多くの観光客で混んでいた。

### 鎌倉幕府と道元

道元は、鎌倉幕府評定衆の波多野義重（よししげ）の助けをかり、越前に永平寺を建立。



そんな縁により、五代執権北条時頼に招かれ、半年間鎌倉に滞在（1248 年（宝治 2 年）～1249 年（宝治 3 年））し、時頼の寺院建立の要請があったが、お断りをして永平寺に帰山した。

平成 14 年禅師の七百五十回忌大遠忌事業の一環として、鶴岡八幡宮の西、馬場小路を小袋坂へと向かう途中に「鎌倉御行化顕彰

碑～只管打坐～」の碑が建立された。写真はネットより拝借。今度、鎌倉に行ったら是非訪れたい。



鎌倉五山第一位の建長寺は、時頼の創建による。自力本願の厳しい戒律を要する禅宗は、自立性の強い武士階級に通じるものがあり、時頼は、寿福寺にいた

来日僧 蘭溪道隆を粟船（大船）の常楽寺の住職に迎え、説法を聞くため足繁く通ったと言われ、その後、建長寺の創建に至った。

### 鶴岡八幡宮の大銀杏のその後

樹齢は 1 千年ともいわれ、3 代将軍源実朝を暗殺した公暁



が隠れていたという伝説から「隠れ銀杏」とも呼ばれていた鶴岡八幡宮の大銀杏。長い間、鎌倉の歴史を見守ってきた古木は、平成 22 年 3 月 10 日未明強風によ



り倒伏。その後、どうなっていたのか気になっていた。やっと目にすることができました。銀杏の根を植え直した所からは、ヒコバエが、太い幹を植えた周りからは、新たな芽がでていて育っていました。自然界の蘇生力とはすごいですね。



鶴岡八幡宮は、関東の守護 相模国の一宮であり、鎌倉八幡宮とも呼ばれる。武家源氏、鎌倉武士の守護神。鎌倉初代將軍源頼朝ゆかりの神社として全国の八幡社の中では知名度が高い。

八幡宮の本家ともいえる九州の宇佐八幡の縁起神話には神の使いとして金色の鳩が登場する。八幡神の御使いとして鳩は欠



かせない存在である。中でも鎌倉鶴岡八幡宮は「鳩宮」として親しまれてきた。上宮の正面に掲げられた額に「八」の字が向かい合った鳩の姿であることは有名です。さて、この額に、いくつ「鳩」が描かれているのでしょうか。ネットによれば「鶴岡八幡宮には「鳩守」という小さなメタル製でかわいらしい姿をしたお守りがあります。鳩はもともと従順で、人によく馴れて私たちの心に安らぎを与えてくれます。鳩という漢字には「安んずる（やすんずる）」という意味があります。」と説明されていました。

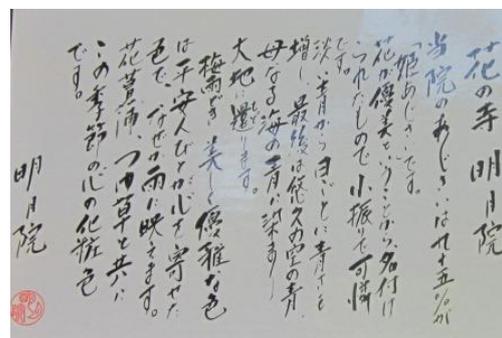
## あじさいの寺 明月院

明月院（めいげついん）は、臨済宗建長寺派の寺院。山号を福源山と称する。本尊は聖観



音、開基（創立者）は上杉憲方。「あじさい寺」として有名で、花のシーズンにはたいへんな混雑をみせる。この寺でアジサイを植えたのはさほど古い事ではなく、「手入れが比較的楽だから」という理由で第二次世界

大戦後に植えたものが次第に有名になったという。アジサイの他にも1年中花が絶えず、紅葉でも知られる。他に冬は蠟梅、春は梅と桜が咲き誇る。案内のパンフレットには48種類の花の名前がある。



アジサイの花は青色が多く、説明には平安人が心を寄せた色であり、なぜか雨に映える色。花菖蒲、つゆ草と共にこの季節の化粧色と説明されています。

## 鎌倉大仏

鎌倉大仏の名で知られる鎌倉大仏は、高徳院の本尊で青銅製の国宝「阿弥陀如来坐像」。建立当時には金箔が施されていたと言われる。最初の大仏は木造で1243年（寛元元年）に完成したが、台風により崩壊。あらたに青銅製の大仏の铸造が、1252年（建長4年）から始められ、10年前後の歳月をかけて造立されたとみられる。

尊像を収めていた「大仏殿」は高さ40メートル



にもなる巨大な建物だったというが、1495年（明応4年）の「明応の大地震」による津波で流された〔1498年（明応7年）〕ともいわれる。〔また、1334年（建武元年）と1369年（応安2年）の大風で倒壊とも言われる〕以後、鎌倉大仏は露坐（ろざ）となる。

大仏建立の理由は不明であるが、死者の怨霊を鎮めるためとする説が有力。高さ13メートル（台座共）、総重量122トンで、原材料の銅から宋の影響を受けた仏像と言われる。

平成25年6月6日